



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月7日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大久保 信隆

TEL 03-5323-0231

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	62,555	3.9	2,136	26.8	2,738	59.0	2,018	53.9
2022年3月期第3四半期	60,189	19.7	1,685		1,722		1,311	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 8,141百万円 (210.8%) 2022年3月期第3四半期 2,619百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	34.10	
2022年3月期第3四半期	22.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	119,835	61,723	49.8
2022年3月期	104,865	54,466	50.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 59,685百万円 2022年3月期 52,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.00	14.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	0.6	3,000	0.7	2,900	12.3	2,100	24.6	35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	63,077,770 株	2022年3月期	63,060,164 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	3,865,795 株	2022年3月期	3,865,040 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	59,203,010 株	2022年3月期3Q	59,195,539 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇は継続し、不安定な為替相場など、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、ウクライナ情勢の長期化による物価、エネルギー価格の高騰等によるインフレ抑制に向けた、各国の金融政策変更による景気減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、半導体不足やサプライチェーンの混乱により、自動車メーカーの生産減が続くなど、厳しい事業環境となりました。

当社グループは、厳しい事業環境の中、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売が増加し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は625億55百万円（前年同四半期比3.9%の増収）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加の影響に加え、生産効率化や為替変動影響等により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は21億36百万円（前年同四半期比26.8%の増益）となりました。また、営業利益の増加に加え、円安による為替差益を計上し、経常利益は27億38百万円（前年同四半期比59.0%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億18百万円（前年同四半期比53.9%の増益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

（日本）

国内の自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少したことにより、売上高は353億52百万円（前年同四半期比1.8%の減収）となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などによる生産工場の稼働率低下の影響により、セグメント利益は7億77百万円（前年同四半期比54.8%の減益）となりました。

（中国）

中国の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は138億60百万円（前年同四半期比20.9%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、人民元が対米ドルで通貨安に推移したことや生産効率化の進展等により、セグメント利益は11億10百万円（前年同四半期比438.8%の増益）となりました。

（東南アジア）

タイの自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は102億96百万円（前年同四半期比4.4%の増収）となりました。

利益面では、売上高の増加の影響に加え、タイパーツが対米ドルで通貨安に推移したことや生産効率化の進展等により、セグメント利益は11億6百万円（前年同四半期比169.6%の増益）となりました。

（欧米）

欧州、米国共に、自動車販売台数が回復しつつあり、車載向けの販売が増加し、売上高は30億45百万円（前年同四半期比6.6%の増収）となり、セグメント利益は1億37百万円（前年同四半期比12.7%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて20.2%増加し、668億84百万円となりました。これは、主に現金及び預金が69億66百万円、商品及び製品が21億53百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.6%増加し、529億24百万円となりました。これは、主に有形固定資産が33億61百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて14.3%増加し、1,198億35百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.6%増加し、415億63百万円となりました。これは、主に短期借入金が88億18百万円増加し、支払手形及び買掛金が12億95百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、165億47百万円となりました。これは、主に社債が3億21百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.3%増加し、581億11百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて13.3%増加し、617億23百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定が55億21百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,879	22,846
受取手形及び売掛金	17,948	17,481
電子記録債権	4,427	5,125
商品及び製品	9,621	11,774
仕掛品	3,673	4,470
原材料及び貯蔵品	2,775	3,375
その他	1,337	1,856
貸倒引当金	△40	△47
流動資産合計	55,623	66,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,212	13,214
機械装置及び運搬具（純額）	17,721	19,371
土地	7,758	7,807
建設仮勘定	3,251	3,721
その他（純額）	1,259	1,450
有形固定資産合計	42,204	45,565
無形固定資産		
のれん	58	46
その他	341	354
無形固定資産合計	400	400
投資その他の資産		
投資有価証券	2,975	3,213
退職給付に係る資産	1,221	1,241
その他	2,433	2,531
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,602	6,958
固定資産合計	49,206	52,924
繰延資産		
社債発行費	35	26
繰延資産合計	35	26
資産合計	104,865	119,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,506	11,211
電子記録債務	2,458	2,172
短期借入金	14,328	23,147
1年内償還予定の社債	42	342
未払法人税等	356	204
賞与引当金	748	224
災害損失引当金	46	—
その他	3,148	4,260
流動負債合計	33,637	41,563
固定負債		
社債	3,608	3,287
長期借入金	11,824	11,754
退職給付に係る負債	117	149
資産除去債務	454	453
その他	755	903
固定負債合計	16,761	16,547
負債合計	50,398	58,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,306	22,310
資本剰余金	16,962	16,966
利益剰余金	13,411	14,601
自己株式	△3,135	△3,136
株主資本合計	49,543	50,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	1,252
為替換算調整勘定	1,977	7,498
退職給付に係る調整累計額	235	192
その他の包括利益累計額合計	3,172	8,943
非支配株主持分	1,750	2,038
純資産合計	54,466	61,723
負債純資産合計	104,865	119,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	60,189	62,555
売上原価	51,720	52,906
売上総利益	8,469	9,648
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,781	3,029
賞与引当金繰入額	△42	△140
退職給付費用	24	17
その他	4,021	4,606
販売費及び一般管理費合計	6,784	7,512
営業利益	1,685	2,136
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	87	127
為替差益	91	673
その他	224	354
営業外収益合計	410	1,166
営業外費用		
支払利息	150	209
支払手数料	52	123
操業停止関連費用	68	132
その他	102	99
営業外費用合計	373	564
経常利益	1,722	2,738
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	11
受取保険金	245	—
特別利益合計	246	12
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	79	116
投資有価証券評価損	—	49
特別損失合計	79	168
税金等調整前四半期純利益	1,889	2,581
法人税等	464	443
過年度法人税等	1	0
四半期純利益	1,422	2,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,311	2,018

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,422	2,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	292
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	1,086	5,753
退職給付に係る調整額	△41	△42
その他の包括利益合計	1,196	6,003
四半期包括利益	2,619	8,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,217	7,790
非支配株主に係る四半期包括利益	401	351

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	36,009	11,461	9,863	2,855	60,189	—	60,189
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	36,009	11,461	9,863	2,855	60,189	—	60,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	739	10,410	8,371	3	19,525	△19,525	—
計	36,748	21,871	18,235	2,859	79,715	△19,525	60,189
セグメント利益	1,720	206	410	121	2,458	△773	1,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△773百万円には、セグメント間取引消去121百万円、全社費用△895百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	35,352	13,860	10,296	3,045	62,555	—	62,555
その他収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,352	13,860	10,296	3,045	62,555	—	62,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	995	10,715	11,272	—	22,984	△22,984	—
計	36,347	24,576	21,569	3,045	85,539	△22,984	62,555
セグメント利益	777	1,110	1,106	137	3,131	△994	2,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△994百万円には、セグメント間取引消去△92百万円、全社費用△902百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。